

2020 年度実施概要

教育委員会名

洋野町教育委員会

採択活動名

海洋教育「ひろの学」

取り組みの概要

【推進協議会等の実施状況】

海洋教育推進委員会を、全4回<①5月12日(火)、②6月22日(月)、③10月12日(月)、④2月19日(金)>開催した。第1回海洋教育推進委員会では、新学習指導要領と海洋教育「ひろの学」の関係について確認し、海洋教育を通して育む資質・能力等について協議を行った。第2回海洋教育推進委員会からは、海洋教育「ひろの」学を通して子供たちに身に付けさせていきたい内容を海洋教育ひろの学リテラシーと位置付け、その内容項目や価値について検討を進めた。第3回海洋教育推進委員会では、オンラインで開催となった「第7回海洋教育こどもサミット in 気仙沼」に向けて、各学校の取組状況について共有した。第4回は今年度の取組の反省と来年度の事業や取組の今後の見通しについて共有し、各校の実践の取組や悩みについて意見交流を行った。

全ての海洋教育推進委員会には、東京大学海洋教育センターの田口先生、加藤先生にも参加いただいた。洋野町の海洋教育の方向性や、各校の海洋教育推進にかかわって助言をいただくことができた。

【特例校の申請状況】

本町では、平成27年度から中野小学校において教育課程特例校の指定を受け「海洋科」の実践を行ってきた。これを今年度から同中学校区内の中野中学校に広げ、小中連続して教育課程特例校として「海洋科」の教育課程が実践できるようにした。小中学校9年間での児童生徒の学びの充実を目指して、小中連携しながら「海洋科」の実践に取り組んでいるところである。

また、令和3年度からは中野小中学校の取組を、種市中学校区へ広げるため、教育課程特例校の指定を受けることとなった。種市中学校、種市小学校、角浜小学校、宿戸小学校では、各学校の海洋教育「ひろの学」で実践してきたことをもとに、洋野町の地域、環境、産業、文化に関心を持ち、自分と地域(他地域)とのつながりやかかわりに目を向けられるようなカリキュラムを構築していくこととなる。

【公開研究会・授業研究会・教員研修会】

○授業研究会

中野小学校、中野中学校、宿戸小学校では、校内研究会の取組として、海洋教育「ひろの学」の校内研究に取り組んでいる。今年度は、3校で合わせて5回の海洋教育「ひろの学」授業研究会を実施し、県北教育事務所指導主事を招聘して指導助言をいただいた。各学校の特色を生かしながら、海洋教育の学習活動を通して主体的に探究活動に取り組む子供の姿からたくさんの学びを得ることができた。

【外部機関との連携】

○東京大学海洋教育センターとの連携

海洋教育推進委員会、ならびに海洋教育副読本編集委員会の際に、町内海洋教育推進委員の先生方に、洋野町海洋教育「ひろの学」について価値づけていただいたり、今後の方向性について指導していただいたりした。

また、洋野町海洋教育地域カンファレンスの際には、洋野町児童生徒に向けて直接ご指導していただく場面もあった。

【地域・保護者を対象とした報告会等の実施状況】

各学校において海洋教育学習発表会等の機会を設定し、海洋教育「ひろの学」で学んだ成果の発表を行い、多くの保護者に参観いただいた。

また、今年度は、第7回 海洋教育こどもサミット in 気仙沼、洋野町海洋教育地域カンファレンスをオンラインで開催した。たくさんの保護者や地域の方々に視聴申込をいただき、子どもたちの発表を見ていただく機会となった。

【教育委員会としての取組】

2月19日（金）には、洋野町海洋教育地域カンファレンスを実施した。町内11の小中学校と、教育委員会、東京大学海洋教育センター等をオンラインでつなぎ、各学校の実践発表、東京大学田口先生の特別講義を実施した。町内の海洋教育での学習の様子を交流することにより、相互の理解を深めることにつながった。

また、昨年度立ち上げた海洋教育副読本編集委員会を継続して開催し、各校の実践を基にした副読本の作成に取り組んだ。海洋教育ひろの学リテラシーを大きな項目としながら、各学校の実践を基にしたページとして割り付けて、おおよその内容を構成するところまで進めることができた。今後も令和3年度の完成を目指し、児童生徒や先生方が活用できる海洋教育副読本の編集を行っていく。

活動参加校名 ※参加した学校の数に応じて記載してください

1. 洋野町立種市小学校
2. 洋野町立角浜小学校
3. 洋野町立宿戸小学校
4. 洋野町立中野小学校
5. 洋野町立大野小学校
6. 洋野町立林郷小学校
7. 洋野町立帯島小学校
8. 洋野町立向田小学校
9. 洋野町立種市中学校
10. 洋野町立中野中学校
11. 洋野町立大野中学校